

国内産糖製造事業者の経営改善計画の認定について

砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律に基づき、国内産糖製造事業者に対して交付される交付金については、当該事業者がその経営の改善を図るための措置に関する計画を作成し、その内容が適当である旨の農林水産大臣の認定を受けていることが、交付対象要件の一つとされています。

今回、認定を受けた事業者及び経営改善計画の概要は以下のとおりです。

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
1	日本甜菜製糖株式会社 (てん菜糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 省エネや環境対策を目的とした設備工事の実施等によるコスト削減 ② 製糖設備改善による環境負荷の低減 ③ てん菜糖蜜の増産による付加価値の向上 等により、てん菜糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を基準製造経費(平成28～令和2年度製造経費の5年中庸3カ年平均)に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を2.09%以上低減させる。 ・各製糖所で実施する環境負荷低減に資する設備改善により、令和3年度に対し、年間の二酸化炭素の排出量を49,000トン削減させる。 ・副産物であるてん菜糖蜜の生産数量を、基準対象年度の平均数量に対し2,100トン増産し、てん菜糖換算で1,050トンの有効活用により、付加価値向上を図る。	R5.1.27
2	ホクレン農業協同組合連合会 (てん菜糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① てん菜用分析装置導入による分析業務の効率化・標準化 ② 石灰焼成工程監視設備の導入によるFA化の推進 ③ 中間受入場の開設(清水製糖工場)による原料輸送車両台数の削減 ④ 減価償却費の低減 等により、てん菜糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2年度の5年中庸3カ年平均値に対し、計画期間の平均値にて2.09%以上低減させる。 ・清水製糖工場に中間受入場を開設することにより、原料輸送ピーク時に必要な車両台数を30台削減させる。 ・減価償却費を令和1～3年度の平均値に対し、令和4～6年度の平均値にて2.09%以上低減させる。	R5.1.27
3	北海道糖業株式会社 (てん菜糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 減価償却費の低減 ② 作付面積の適正化 ③ 工程の改善等によるコスト削減 等により、てん菜糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を2.09%以上低減させる。 ・食料・農業・農村政策審議会甘味資源部会における議論・検証を踏まえ、作付面積の適正化となるよう関係者との共同した取組を図る。 ・本別製糖所生産終了に伴う不要設備の除却等により減価償却費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均に対し5%以上低減させる。	R5.1.27
4	新光糖業株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 新規加工助剤の作業時の最適使用条件確立による清浄工程における生産管理手法の改善 ② 原油価格高騰等に伴うコスト上昇に見合った製品販売単価の増加 等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・沈殿改善効果のある新規加工助剤の作業時における最適使用条件を確立し、生産管理手法の改善を図る。また、既存凝集剤と安価な新規加工助剤の併用により、資材購入費の低減、沈殿不良改善による操業の安定化を図る。 ・原油価格高騰等による物流コストや製造コストの上昇に見合う販売価格にするため、直消糖(袋物)の販売単価を引き上げる。	R5.1.27
5	富国製糖株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 関係機関と連携した生産振興による原料生産量の増加、工場稼働率の向上 ② 適正な搬入数量確保に向けた関係機関との連携等による原料集荷の効率化 等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費について、平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均値に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・JA、ハーベスタ収穫組合、輸送事業者との間で連携し、適正な搬入数量を調整する集荷体制の効率化を進め、滞貨数量100トン以上の日数を令和6事業年度までに10日以内に減らす。 ・茎長・茎重が優れ、多収である農林23号の収穫品種構成比率を令和3年度の収穫品種構成比率17.1%から令和6事業年度までに5%以上増加させる。	R5.1.27

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
6	生和糖業株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 結晶缶更新による糖度回収率の向上 ② 省力化に向けた設備投資と社員の多能工化等による期間従業員削減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費について、平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均値に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・結晶缶の更新等により、買入甘蔗糖度に対する糖度回収率を平成28～令和2事業年度の中庸3カ年平均の84.9%から計画最終年度までに89.0%を目標として段階的に向上させる。 ・製糖期の人員の確保が困難な状況を踏まえ、少人数での運転制御が可能となるよう省力化に必要な装置の設置や社員の多能工化を推進し、期間従業員を不要とする人員体制を構築する。	R5.1.27
7	南西糖業株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 関係機関と協力した単収向上対策や優良品種の導入促進による工場稼働率の向上 ② ボイラー関連設備やバガス搬出設備等の自動化による作業時間低減 ③ 効用缶の更新による修繕費等の削減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・修繕箇所の絞り込み、使用材料の見直し等により、補助材料費を、令和2事業年度実績に対し、令和6事業年度までに5%以上削減させる。 ・一般管理部門の人件費(固定費)を、令和2事業年度実績に対して、令和6事業年度までに5%以上低減させる。	R5.1.27
8	南栄糖業株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 関係機関と協力し、土づくり対策として堆肥利用の助成を行い、堆肥利活用を促進 ② 発電機の更新やボイラー設備等の改修による修繕費の低減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・A重油の原料トン当たりの使用量について、バガス等の有効活用により、平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均に対し、令和6事業年度までに5%以上削減させる。 ・発電・ボイラー設備の長寿命化、メンテナンス作業の軽減を図り、修繕費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均に対し、令和6事業年度までに3%以上削減させる。	R5.1.27
9	与論島製糖株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 関係機関と協力した原料生産量の増加、工場稼働率の向上 ② 効用缶等の洗浄剤として使用している補助材料の原料トン当たり使用量の削減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費について、平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均値に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・与論島糖業振興会の実施する事業の推進により、収穫面積を令和3事業年度の実績に対し、令和6事業年度までに4%以上増加させる。 ・洗浄剤として使用している補助材料の原料トン当たりの使用量を平成28～令和2年の平均に対し、令和6事業年度までに30%以上削減させる。	R5.1.27
10	ゆがふ製糖株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 関係機関と協力した原料生産量の増加、工場稼働率の向上 ② 優良品種(農林28号、農林29号)の導入促進 ③ 減価償却費の低減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費について、平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均値に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・単収向上のため、株出における萌芽性に優れ、高糖多収である品種「農林28号」及び「農林29号」について、令和3年度に対し、令和6年度までに5%増加させる。 ・減価償却費を平成28～令和2年度の5年中庸3カ年平均値に対し、令和6年度までに4.84%低減させる。	R5.1.27
11	沖縄県農業協同組合 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 関係機関と協力し、高糖・多収性品種の普及等による増産を進め、工場稼働率を向上 ② 一日当たりの圧搾量を計画どおり確保し、バガスの使用によるA重油の削減等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3カ年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・管内のさとうぎの収穫面積を平成28～令和2の5年中庸3カ年平均に対し、令和6年度までに5%増加させる。 ・脱葉性に優れ機械刈取りに適した品種を令和3年度に対し、令和6年度までに作付面積5%増加させる。	R5.1.27

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
12	久米島製糖株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 収穫面積の拡大、地力向上等による原料生産量の増加、工場稼働率の向上 ② 優良品種の普及、機械刈原料の増加等による歩留向上 ③ 省エネ設備等の導入による製造コストの削減 等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3か年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・管内のさとうきびの収穫面積を令和3事業年度に対し、令和6年度までに10%増加させる。 ・株出多収穫かつ早熟性品種で、機械刈りにも適した品種である農林29号について、普及率を令和3事業年度に対し、令和6事業年度までに5.0%増加させる。	R5.1.27
13	大東糖業株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 自治体・生産者等の取組に協力し、原料生産量を増加、工場稼働率を向上 ② 原料ストック量を増やすことで、原料切れによる停搾日数の低減 ③ 副産物の売上増加 ④ 発電設備、清浄設備の更新によるコスト削減 等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3か年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・製糖日数における原料切れによる停搾日数の割合を、令和3事業年度に対し令和6事業年度までに5.0%以上低減させる。 ・副産物の売上を令和3事業年度に対し、令和6事業年度までに5.0%以上増加させる。	R5.1.27
14	北大東製糖株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 原料生産量の目標達成、工場稼働率の向上 ② 糖度回収率の向上 ③ 機械収穫と株出管理作業を組み合わせた早期株出管理体制の確立 等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3か年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・原料の品質劣化対策に努め、糖汁の安定供給を図ることにより、結晶・分離工程での糖分ロス低減し、糖度回収率を令和3年度の80.00%に対し、令和6年度までに82.00%まで向上させる。 ・適期の夏植を行える体制の強化、農家への意識啓発と適期植え付けの推進を図り、新植の比率を令和3年度夏植37.6%に対し、令和6年度までに夏植40%とし適期の植付けを推進する。	R5.1.27
15	沖縄製糖株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 工場副産物(バカス、ケーキ等の有機物)の畑地還元による地力増進等により原料生産量を増加、工場稼働率を向上 ② 老朽設備の更新 等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3か年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・管内で低単収となっている株出圃場の更新及び夏植への切替を図り、基準値(H28～R2の中庸3年平均)の収穫面積2,260haに対し、R6事業年度までに2,458haに増加させる。 ・芽出、株出萌芽に優れ、多茎数品種である農林22号の普及率を令和2事業年度に対し、令和6事業年度までに10%増加させる。	R5.1.27
16	宮古製糖株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 糖度回収率の向上 ② 省エネ設備等の導入による製造コストの削減 ③ 品種構成の見直し 等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3か年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・令和3事業年度のさとうきび機械刈収穫の割合を令和6事業年度までに2%以上向上させる。 ・令和3事業年度の糖度回収率を令和6事業年度までに2%以上向上させる。	R5.1.27
17	石垣島製糖株式会社 (甘しや糖)	R4.10.1 ～ R8.1.31	① 原料生産量の増加、工場稼働率の向上 ② 原料集荷の効率化 ③ 自動制御設備の導入等による糖度回収率の向上 等により、甘しや糖製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・単位製品重量当たりの製造経費を平成28～令和2砂糖年度の5年中庸3か年平均に対し、計画期間の平均値又は最終計画年度の値を1.02%以上低減させる。 ・収穫予定圃場のデジタル図面化に加え、ハーベスターへGPSを設置しIoTを活用したハーベスター刈取状況の情報を共有化することで、集荷及び製糖日数の短縮化を図る(令和3年度486t/日に対し令和6年度までに10%増加)。 ・自動制御設備の導入による工場運転の効率化や不具合リスクの高い設備の改善にて操業の安定化を図り、令和3年度に対し令和6年度までに糖度回収率を相対的に2%向上させる。	R5.1.27

(問い合わせ先)
農産局地域作物課
電話: 03-3502-8111(代) (内線 4842)